

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-4 1

学校名・団体名	郡上市立大和第一北小学校
HPアドレス	http://www.gujo.ed.jp/~yamato1kita/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	地域から学び地域へ発信する一北っ子
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校では、学校周辺で数多く見られるホタルの保護・飼育活動や、地域の方々と共に行う稲作体験活動に代表される“郷土の自然や地域の方々の関わりを大切にした特色ある教育”の推進に力を入れている。本実践では、これらの活動を通して校区のすばらしさを再認識するとともに、それを他地域に発信することを目的とする。</p>	

<ホタル学習>

本校では校区に住むボランティアの方と一緒に、地元で育ったホタルの飼育活動を続けている。今年6月には例年のようにホタル観察会を開催し、学校周辺で多くのホタルを観察してきた。しかし、このように観察できることを当たり前と思っていたが、他地域にはないすばらしい特色であることを理科の授業で学んだ。そこで、なぜホタルがこれだけ見られるのかを探ることにした。

【単元】6年生理科 最終単元「地球に生きる」(環境学習)

【実施時期】2月～3月



学校周辺の水環境を知るために、河川環境楽園の専門家にご指導をいただき、指標生物を用いた水質判定(カワゲラウオッチング)を行った。蛍光館に隣接する人工河川、グラウンド南を流れる寺川に入り、水生昆虫を採集して調べた結果、「水質階級Ⅰ～Ⅱ」のきれいな環境であることが分かった。結果をもとに、子どもたちはありきたりのことだけでなく、実際にできることを考えポスターを用いて提案した。

「実際に調査した結果、きれいな水質だと分かった。だからホタルがたくさん見られることが分かった。」

「きれいな環境を、このあとも残していきたいけど、僕たちはもうすぐ卒業。だから小学校に残る子たちや、蛍光館を訪れた人たちに万場の環境のすばらしさを知ってもらうために看板を作ろう。」

「川に住む生き物を水槽で飼育し展示することで、こんなにも多くの生き物が水中で暮らしているということをみんなに知ってもらおう。」

このように話し合った子どもたちは、蛍光館にポスターを掲示したり、水槽・看板を設置したりすることで、環境のすばらしさを伝える活動を進めた。来年度以降の活動の中に、本活動の成果を取り入れていきたい。

<田んぼの学習>

本年度は、実施学年で複式学級を編成したため、実質的な活動を行っていない。来年度の活動に向けて耕耘機を購入し、雪解けが進んだ3月になってから田起こしを行った。また現在、来年度の地域ボランティアも数名集まっており、4月からすぐに学習を進める予定である。

